

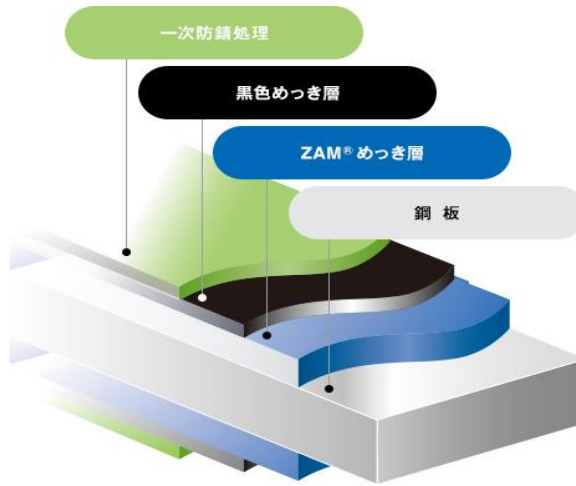


日本製鉄株式会社



黒ZAM[®] (建設用)

(BLACK ZAM[™] for Constructions)



算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：瀬戸内製鉄所

主な規格：

日本製鉄規格

※詳細はELシート⑧備考欄に記載

形状：コイル、シート板

主な板厚 (単位mm、t=板厚)：t=0.25~6.0

登録番号	JR-AJ-23014E-B
適用PCR番号	PA-180000-AJ-06
PCR名	建設用鉄鋼製品 (中間財)
公開日	2024年2月5日
検証合格日	2024年1月16日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24014
検証有効期間	2029年1月15日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 千葉大学

第三者検証者*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

問い合わせ先

日本製鉄株式会社 薄板事業部 薄板企画室

TEL：03-6867-6855 <https://www.nipponsteel.com/>

登録番号：JR-AJ-23014E-B

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響	生産のみ	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1600	2700	kg-CO ₂ eq
酸性化	0.55	2.3	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.025	0.046	kg-PO ₄ ³⁻ eq

スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳	項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	【D】 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	2.7E+03	5.2E+02	1.5E+02	2.1E+03	-1.1E+03
オゾン層破壊		kg-CFC-11eq	2.7E-04	2.3E-04	9.8E-10	3.8E-05	-2.1E-07
酸性化		kg-SO ₂ eq	2.3E+00	5.3E-01	4.0E-01	1.4E+00	-1.8E+00
光化学オキシダント		kg-C ₂ H ₄ eq	2.4E-02	5.0E-03	7.9E-03	1.1E-02	-2.5E-01
富栄養化		kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.6E-02	1.2E-03	8.8E-13	4.5E-02	-2.1E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	6.8E+02 kg
再生可能資源	9.6E+02 kg
非再生可能エネルギー	3.0E+04 MJ
再生可能エネルギー	-6.3E+02 MJ
淡水の消費	2.4E-01 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
鉄 [Fe]	≥84.0 %
炭素 [C]	≤1.10 %
ケイ素 [Si]	≤3.00 %
マンガン [Mn]	≤3.00 %
リン [P]	≤0.050 %
硫黄 [S]	≤0.050 %
亜鉛 [Zn]	≤14.00 %
アルミ [Al]	≤1.00 %
マグネシウム [Mg]	≤0.50 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.00E+00 kg
無害廃棄物	1.7E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- 1) 間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果内訳表の【D】間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。計算に使用したリサイクル率は93.0% (計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ (出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会) を使用)
- 2) 原料の輸送シナリオはPCRに従った。熱延鋼板及びZAMの工場間輸送は海上輸送距離を地図ソフトで計測して用いた。
- 3) 本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。但し、各製品において構成成分における鉄の含有量が84.0%以下になることはなく、他構成成分の比率が調整される。
- 4) 一次データは、2018年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- 5) 原料炭の輸送については、利用した原単位データベースの性質上、原単位が原料炭の項目と石炭輸送に二重計上となっている。

⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a]に関する注意：本製品の購入者が、その組織のスコープ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

(上記URLの内容は、EPDの検証対象外)

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEAv2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップ LCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

規格名詳細（かつこ内は規格内の種類を指す記号例）

○日本製鉄規格

一般用（例；MSM-CC-DZBK、MSM-HC-DZBK）、絞り用（例；MSM-CD-DZBK、MSM-HD-DZBK）、構造用（例；MSM-CK400-DZBK、MSM-HK400-DZBK）、建築構造用（例；MSM-CK400K-DZBK、MSM-HK400K-DZBK）等

*2024年1月 外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

変更日：2026年4月1日 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更

変更日：2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)